

【協力会社紹介】

最上軌道有限会社 渡邊克也機械安全課長

皆さま、平素は大変お世話になっております。最上軌道の渡邊と申します。業務は主に作業計画の管理を担当しています。現場では軌道工事管理者およびバックホオペレーター（BHOP）として、限られた作業間合いの中で、安全・正確・効率的な施工を常に意識し、一つひとつの作業を確実に進めることを心掛けています。また、バックホー作業では作業員の負担軽減にも配慮し、チームから信頼されるオペレーターを目指して日々技術の向上に努めています。今後も技術を磨きながら、仲間とのコミュニケーションを大切にし、チーム一丸となって安全で高品質な鉄道工事に貢献してまいります。



当職場では、「私たちは家族です」をモットーに、互いを尊重し支え合いながら業務に取り組んでいます。

現在の課題は、若手社員の採用と技術継承です。そのため、先輩社員による現場指導をはじめ、年2回の軌道工事に関する勉強会や理解度確認を実施し、人材育成に力を入れています。また、各種研修への積極的な参加を通じて、知識と技術力の向上を図っています。

安全面では、「年間無事故・無災害」の達成を目標に掲げ、毎月の安全会議で翌月の作業計画におけるリスクと対策を全員で検討しています。今後も事故事象ゼロを目指し、安全・高品質な施工の実現に努めてまいります。

○安全への取り組み

弊社では年間を通して重機械を使用する工種を中心に施工を行っています。2023年、2024年に重機械に起因する事象が発生したことを重く受け止め、現在は策定した再発防止対策を確実に実施し、重機災害の防止に取り組んでいます。



重機械作業では、作業半径内の死角を完全になくすることが難しいため、人や支障物との接触防止を常に意識することが重要です。バックホオペレーター（BHOP）や誘導員、軌陸車運転者・誘導員だけでなく、作業員全員が相互確認を徹底し、安全確保に日々取り組んでいます。

○「弥生給与NEXT」の導入

2025年7月より「弥生給与NEXT」を導入し、給与明細の電子化を開始しました。これにより紙の使用量が削減されたほか、年末調整時の保険料控除申告なども、従業員が各自のスマートフォンから手続きできるようになり、事務業務の効率化が進んでいます。また、ネットバンキングの導入により振込業務も大幅に効率化され、日々の業務負担軽減につながっています。

一方で、先代の社長の時代には、給料日に従業員一人ひとりの自宅を訪問し、現金を手渡ししていたそうです。ご家族と玄関先

で言葉を交わすことも多く、今となっては懐かしい思い出となっています。

時代の変化とともに業務のデジタル化は進んでいますが、人と人とのつながりを大切にする気持ちは、これからも受け継いでいきたいと思っています。（事務担当者談）

《職場のホープの紹介》

○伊藤 聖真（いとう せいま） 25歳

2025年7月入社。利府町青葉台から通勤しており、細身ながら体力があり、現場では粘り強く作業に取り組んでいます。穏やかな性格で理解力も高く、タイタンパーの扱いや列車見張り員業務にも着実に習熟しています。今後は軌作責や玉掛け資格の取得を目指しており、さらなる成長を期待しています。



【鉄道経験】 1年

【抱負】 まずは怪我をしないことを第一に、さまざまな工事を一つずつ覚えていきたいです。

【特技】 ゲームが少し得意です。

【趣味】 ゲーム、ボウリング、グッズ集め

【夢】 大きな夢はこれから見つけていきたいですが、まずは怪我なく健康に過ごすことです。

○菅原 智熙（すがわら ともき） 34歳

2025年7月入社。仙台市宮城野区在住です。身長182cmの恵まれた体格と持久力を活かし、現場では安定して作業に取り組んでいます。落ち着いた受け答えと責任感の強さが印象的で、見張り業務にも適性を発揮しています。今後は軌作責資格や玉掛け資格の取得を目指して、さらなる活躍が期待される若手社員です。



【鉄道経験】 1年

【抱負】 鉄道の安全を支える一員として、怪我なく、早く仕事を覚えたいです

【特技】 弓道

【趣味】 ツーリングや温泉巡り

【夢】 バイクで日本旅行



【安全祈願の様子】

○お知らせ

・新社屋建設にむけて

弊社では、新社屋建設に向けた取り組みを開始しました。多賀城市町前に土地を借用し、工事の安全を祈願して6月15日に地鎮祭を執り行いました。工事完成と移転は年内を目標に進めてまいります。関係各所の皆様へ無事に移転のお知らせができるよう、引き続き細心の注意を払いながら工事を進めてまいります。

・基本給UP

7月給与から基本給UP（一律¥10,000/月）しました。